



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日  
上場取引所 札

上場会社名 日本グランド株式会社  
コード番号 2976 URL <https://www.nippon-grande.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 平野 雅博  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 矢代 俊二  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(TEL) 011-211-8124

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	1,924	△28.1	△72	—	△95	—	△47	—
2024年3月期第3四半期	2,676	49.2	20	—	△6	—	△4	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △48百万円(—%) 2024年3月期第3四半期 △1百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	△35.48	—
2024年3月期第3四半期	△3.07	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	5,892	1,938	32.9
2024年3月期	6,747	2,004	29.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 1,938百万円 2024年3月期 2,004百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,864	△26.4	△83	—	△117	—	△78	△58.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	1,343,600株	2024年3月期	1,343,600株
2025年3月期3Q	—株	2024年3月期	—株
2025年3月期3Q	1,343,600株	2024年3月期3Q	1,343,600株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、社会経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境の改善のほか、個人消費の増加等から、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、地政学的リスクや海外景気の下振れ、物価上昇や金融情勢の変動等の動向により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する不動産業界におきましては、札幌市の新築分譲マンション市場は、マンション用地や建築コストの高騰等によりマンション販売価格が高止まりで推移しており、お客様の購入希望価格との相違や今後の金利上昇懸念等、引き続き注視する状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、居住用新築分譲マンション及び新築分譲戸建住宅の販売、買取再販、媒介・仲介、リフォーム事業等の不動産分譲事業に継続して注力してまいりました。

これらの状況により、当社グループの主力事業であります不動産分譲事業におきましては、当第3四半期連結累計期間において、新築では分譲マンション15戸の引渡、前期繰越在庫では分譲マンション15戸及び分譲戸建住宅2戸の引渡となり、総引渡戸数は32戸(前年同期比24戸減)となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,924,916千円(前年同期比28.1%減)、営業損失は72,706千円(前年同期は20,412千円の営業利益)、経常損失は95,329千円(前年同期は6,278千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は47,677千円(前年同期は4,128千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### (不動産分譲事業)

当第3四半期連結累計期間における分譲マンション事業におきましては、新築分譲マンション1物件「グランファーレ真駒内グランフォレスト」を竣工し15戸の引渡を完了したほか、前期繰越在庫15戸の引渡を含めた30戸(前年同期比25戸減)の引渡を行っております。なお、前期繰越在庫及び「グランファーレ真駒内グランフォレスト」につきましては、販売を継続しております。

分譲戸建住宅事業におきましては、前期繰越在庫2戸(前年同期比1戸増)の引渡を行っております。なお、第4四半期連結会計期間に竣工予定の「ラ・レジーナ平岸」及び第3四半期連結会計期間に販売を開始した来期竣工予定の「ラ・レジーナ新さっぽろ」は完売となり、前期繰越在庫につきましては、販売を継続しております。

当第3四半期連結累計期間における分譲マンション及び分譲戸建住宅の引渡戸数は32戸(前年同期比24戸減)、売上高は1,266,339千円(前年同期比39.6%減)となりました。

その他の売上高は78,482千円(前年同期比151.7%増)となりました。主な増加の要因は、当第3四半期連結会計期間において、買取再販物件を引渡したためであります。

この結果、不動産分譲事業の売上高は1,344,822千円(前年同期比36.7%減)となり、セグメント損失は95,823千円(前年同期は23,956千円のセグメント利益)となりました。

#### (不動産賃貸事業)

当第3四半期連結累計期間におけるサービス付き高齢者向け住宅事業におきましては、賃貸料収入は264,588千円(前年同期比7.6%増)となりました。

収益不動産の賃貸事業におきましては、賃貸料収入は50,125千円(前年同期比1.6%増)となりました。

その他として、サービス付き高齢者向け住宅支援サービス事業等による売上高は135,350千円(前年同期比10.2%増)となりました。

この結果、不動産賃貸事業の売上高は450,063千円(前年同期比7.6%増)となり、セグメント利益は156,423千円(前年同期比18.4%増)となりました。

## (不動産関連事業)

当第3四半期連結累計期間におけるマンション管理事業におきましては、分譲マンションの管理棟数が増加したこと等により、売上高は100,653千円(前年同期比8.9%増)となりました。

その他の売上高は、29,376千円(前年同期比26.7%減)となりました。

この結果、不動産関連事業の売上高は130,030千円(前年同期比1.9%減)となり、セグメント利益は20,431千円(前年同期比25.6%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,876,221千円となり、前連結会計年度末に比べて790,708千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が730,032千円、仕掛販売用不動産が341,954千円、未収還付法人税等が18,543千円それぞれ減少した一方、販売用不動産が276,011千円、未収入金が14,527千円、未収消費税等が5,749千円増加したことによるものであります。

固定資産は3,012,695千円となり、前連結会計年度末に比べて67,473千円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が67,178千円減少したことによるものであります。

繰延資産は3,993千円となり、前連結会計年度末に比べて3,993千円増加いたしました。これは社債発行費が3,993千円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は5,892,909千円となり、前連結会計年度末に比べて854,187千円減少いたしました。

## (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,631,296千円となり、前連結会計年度末に比べて801,714千円減少いたしました。これは主に、買掛金及び工事未払金が541,780千円、短期借入金が356,100千円、1年内返済予定の長期借入金が5,004千円それぞれ減少した一方、1年内償還予定の社債が50,000千円、預り金が7,418千円、契約負債が43,794千円、未払消費税等が5,170千円増加したことによるものであります。

固定負債は2,323,240千円となり、前連結会計年度末に比べて13,947千円増加いたしました。これは主に、長期借入金が157,998千円減少した一方、社債が175,000千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,954,536千円となり、前連結会計年度末に比べて787,766千円減少いたしました。

## (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,938,372千円となり、前連結会計年度末に比べて66,421千円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失47,677千円の計上と配当金17,466千円の支払いに伴い、利益剰余金が65,144千円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年11月14日の「通期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,484,569	754,536
売掛金及び契約資産	24,675	28,073
販売用不動産	893,833	1,169,844
仕掛販売用不動産	1,168,801	826,846
その他の棚卸資産	4,257	4,510
その他	90,792	92,409
流動資産合計	3,666,929	2,876,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,235,766	2,171,143
土地	775,939	775,939
その他（純額）	15,615	13,060
有形固定資産合計	3,027,320	2,960,142
無形固定資産	6,877	5,217
投資その他の資産	45,969	47,335
固定資産合計	3,080,168	3,012,695
繰延資産		
社債発行費	—	3,993
繰延資産合計	—	3,993
資産合計	6,747,097	5,892,909

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金及び工事未払金	848,963	307,183
短期借入金	1,199,100	843,000
1年内返済予定の長期借入金	227,155	222,151
1年内償還予定の社債	—	50,000
未払法人税等	4,683	7,277
賞与引当金	4,894	1,553
株主優待引当金	2,972	160
預り金	21,238	28,656
その他	124,004	171,314
流動負債合計	2,433,011	1,631,296
固定負債		
社債	—	175,000
長期借入金	2,204,728	2,046,730
その他	104,564	101,510
固定負債合計	2,309,292	2,323,240
負債合計	4,742,303	3,954,536
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	182,726	182,726
資本剰余金	82,726	82,726
利益剰余金	1,736,697	1,671,553
株主資本合計	2,002,149	1,937,005
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,644	1,367
その他の包括利益累計額合計	2,644	1,367
純資産合計	2,004,794	1,938,372
負債純資産合計	6,747,097	5,892,909

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	2,676,834	1,924,916
売上原価	2,217,486	1,586,921
売上総利益	459,348	337,995
販売費及び一般管理費	438,935	410,702
営業利益又は営業損失(△)	20,412	△72,706
営業外収益		
受取利息及び配当金	93	182
受取手数料	1,556	757
金利スワップ評価益	304	730
違約金収入	388	2,694
補助金収入	1,071	—
保険解約返戻金	149	—
その他	2,377	4,485
営業外収益合計	5,941	8,851
営業外費用		
支払利息	30,500	25,576
社債利息	—	925
その他	2,133	4,972
営業外費用合計	32,633	31,474
経常損失(△)	△6,278	△95,329
特別利益		
保険解約返戻金	—	51,996
特別利益合計	—	51,996
税金等調整前四半期純損失(△)	△6,278	△43,332
法人税等	△2,150	4,344
四半期純損失(△)	△4,128	△47,677
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,128	△47,677



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純損失(△)	△4,128	△47,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,369	△1,277
その他の包括利益合計	2,369	△1,277
四半期包括利益	△1,759	△48,954
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,759	△48,954

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 分譲事業	不動産 賃貸事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,126,097	418,176	132,560	2,676,834	—	2,676,834
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	10,298	10,298	△10,298	—
計	2,126,097	418,176	142,858	2,687,133	△10,298	2,676,834
セグメント利益又は損失 (△)	23,956	132,085	27,469	183,511	△163,098	20,412

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△163,098千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 分譲事業	不動産 賃貸事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,344,822	450,063	130,030	1,924,916	—	1,924,916
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	12,528	12,528	△12,528	—
計	1,344,822	450,063	142,559	1,937,445	△12,528	1,924,916
セグメント利益又は損失 (△)	△95,823	156,423	20,431	81,031	△153,737	△72,706

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△153,737千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	69,978千円	68,965千円

### 3. その他

#### 継続企業の前提に関する重要事象等

地価及び建築コストの高騰によりマンション及び戸建住宅の販売価格が上昇、また、物価上昇によるお客様の購入意欲低下の影響により販売ペースが鈍化し、このまま推移した場合、取引金融機関からのプロジェクト資金の返済や建築代金の支払い等、資金繰りに影響がでる可能性が認められることから、前連結会計年度において、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しているものと認識しております。

当社グループは当該状況を解消すべく、新規のお客様の開拓と当社グループとしてもっとも効率的な販売アプローチを採用してお客様の集客を図り、販売促進に繋げるべく不動産分譲事業の販売に継続して取り組んでまいりましたが、当第3四半期連結会計期間末日現在までに当該状況の解消には至っておりません。

しかしながら、当第3四半期連結累計期間の成約は順調に推移しており、また、取引金融機関からも引き続きご支援をいただいている状況です。あわせて、無担保社債の発行により資金調達も行っており、当面の資金繰りに懸念はありません。

以上の状況により、当第3四半期連結会計期間末日現在において、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。